

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	残胃癌に対する残胃亜全摘、残胃全摘術における術後合併症発生リスク因子の検討
所属科*	外科
研究責任者*	南浦翔子
研究実施期間	開始 西暦 2015年 4月 1日 ~ 終了 西暦 2025年 10月 31日 (予定)
対象疾患(予定症例数)	残胃癌 (32 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 年 月 日 ~ 至 西暦 年 月 日
研究概要*	残胃癌に対する残胃亜全摘術や残胃全摘術は、初回手術による癒着や解剖学的位置の変化のため、手術難易度が高いとされている。初回手術の原因疾患や再建方法が術後合併症発生率に影響するとの報告もある。当院で施行した残胃癌に対する残胃亜全摘術及び残胃全摘術の治療成績から、術後合併症のリスク因子を検討した。2015 年以降に残胃癌に対して開腹または腹腔鏡手術を施行した 32 例を対象とした。術後合併症の有無により術後合併症群 13 例と無合併症群 19 例の 2 群に分け、術後合併症リスク因子について後ろ向きに検討した。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	匿名化、厳重な管理を行い、倫理的配慮及び個人情報の保護を行う。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院

* 記入必須項目